

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果（公表）

公表：令和4年2月28日

事業所名 放課後等デイサービスgreenbottlehouse

	チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	○			利用定員に対して基準以上のスペースを確保し、個別に対応できるような個別療育の部屋や個人ブースを取り入れ個別に対応できる部屋を確保している	障害特性に応じて、ブースを増やしたり、移動したり、日々児童の行動を観察し環境設定につなげられるような支援を目標に引き続き環境設定を行う
	2 職員の配置数は適切である	○			配置は適切で、且つ専門職を置き、より児童の課題にアプローチできるよう、人材による環境設定にも配慮している	
	3 事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている		○		階段の手すり、踏み台、目印、できるだけ構造化がなされた環境設定をしている	受け入れ児童が肢体不自由児ではないため、現在重い車いすなどに対応はできていない。現在の利用児童に対しての合理的配慮は引き続きしていく。
業務改善	4 業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画している	○			日々振り返りし、支援のための業務効率化を遂行している。毎日のミーティングでは支援内容だけでなく、支援につながる日々の業務についても検討し、改善し、職員に共有している	勤務体制によりミーティングに参加できない職員には共有ファイルを作り、情報の共有をしている。誰もが詳しく内容を把握できるツールを増やすことを今後の検討事項とする。
	5 保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	○			年に一度保護者様からアンケートを取り、その評価をもとにミーティングを行いより良いサービスにつながるよう努めている。	
	6 この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	○			集計結果と改善案等をホームページにて公開している	
	7 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている		○		公式的な外部評価ではないが、他事業所を招いてアドバイザーや指摘を受け、支援の充実や業務改善に生かしている。	現在第三者による外部評価はサービス向上のため必要と考えている。評価機関の選定や財務的な調整など今後の課題である。
	8 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	○			必須研修を作り、職員が研修に行き新しい知識を得られる機会を会社により設定し、外部研修だけでなく、社内研修も実施している。実際に研修の成果が支援に活かされており、今後も続けていく	
	9 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	○			個別記録を細かく取り、アセスメントを行うための材料を多く集めたうえで個別支援計画を立てている。また、保護者様との連絡を密にし日頃より児童についてミーティングを行うことで児童の環境なども共有できている	
	10 子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	○			個別記録により抽出された材料を、社内での共通のアセスメントツールを使用している。誰もが共通認識で児童のアセスメントを取れるよう、見方をそろえていけるようミーティングにつなげている	
	11 活動プログラムの立案をチームで行っている	○			児童に関わる職員全員が個別記録を記入できるツールを作り、日々情報が入っている。その情報を担当の職員がまとめ、ミーティングにあがるようなシステムであり、チームで活動プログラムの立案に関わっている。	
適切な支援の提供	12 活動プログラムが固定化しないよう工夫している	○			アセスメントを元に、個別に活動プログラムが作られるので、毎日同じ療育活動にならず、個別的な配慮がなされたプログラムといえる。日々児童の課題によりスケジュールや配慮点が異なるので固定化することもなく、柔軟に対応できているといえる。	
	13 平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	○			個別的にスケジュールや個別的な指導を入れていき、課題に対してきめ細やかな支援や配慮がなされている。環境設定や課題の設定、対応の統一がなされるよう日々ミーティングをすることで細やかな支援が現実化されている	スタッフ配置は足りており問題はないが、今後は、よりスタッフを増やし手厚い支援につなげるよう、目標にしている
	14 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	○			児童の発達段階や障害特性を配慮して個別活動をベースに、社会性を育てるために集団活動を適宜プログラムを組んでいる。集団も段階を作り、3人の小集団から参加できる環境設定をして児童が負担なく活動に取り組めるよう配慮し計画案を作成している	
	15 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の内容や役割分担について確認している	○			毎朝朝礼を行い、その日に来所する児童について課題やスケジュールについてのミーティングを行っている。保護者様との連絡や、業務に関しての留意点などもその時間に共有できるようにしている	
	16 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	○			支援終了後に話し合うべき点については、打ち合わせをしている。また支援終了後は振り返りを記録する時間としても設定しており、翌日のミーティングで共有できるようにしている	
	17 日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	○			児童に関わる全ての職員が個別記録を取り、観察の備りをしていく。また記録の取り方についても指導したり研修で記録の取り方を学ぶ機会を増やし職員の支援統一ができるようにしている	
	18 定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	○			モニタリングに関しては6か月おきに行っているが、必要があれば計画の見直しを適宜行っている。毎日のミーティングで出た児童の課題を検証する中で、計画の見直しにつなげている。	
	19 ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っている	○			自立支援と日常生活の充実のための活動、創作活動、地域交流の機会の提供、余暇の提供、この4つを活動のベースに考え、且つ個別的に支援ができるよう計画をたて実践している	
	20 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	○			サービス担当者会議には児童の管理者と担当スタッフが参加している。児童の様子や変化に一番精通している担当スタッフが参加することにより、会議を有意義な時間とし、事業所に持ち帰り支援につなげることができている	
	関係機関や保護者との連携	21 学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っている	○			送迎の際に児童の様子を聞くなど日々、情報共有を行い、必要があれば会議を開き、連携をさせてもらっている。連絡の調整についても、必要な際にはすぐに連絡できるような体制を取っている。
22 医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている		○			児童の主治医から意見書により指示を受け、必要なケアが行えるようにしている。主治医を含めた会議なども行い、何かあれば連絡を取れる体制を取っている。	
23 就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定子ども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている		○			児童発達支援事業所などからの情報連絡については書面によるものや、電話連絡、また実際に支援を児童させてもらうなど、情報については共有させてもらい、相互理解につなげている。今後も続けていく。	
24 学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している			○		まだ学校を卒業した児童がおらず、情報の提供実績はないが、卒業後に提供できるよう、今まで行った支援の内容の記録、アセスメント、など記録をまとめたものを準備している。今後進路により、情報の提供がスムーズに行えるよう準備をしていく。	
25 児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている		○			児童発達センターの視察を行った。助言を受けることにより支援の充実を図っている。	
26 放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある			○			コロナ禍の為に現在は難しいところではあるが、時期が来れば地域交流の機会の提供という観点から積極的に参加したい。
27 (地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している			○			コロナ禍の為に現在は難しいところではあるが、時期が来れば自立支援と日常生活の充実のための活動という観点から積極的に参加したい。
28 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている		○			送迎時や連絡帳のシステムを利用し、事業所からだけでなく保護者様からの意見や情報なども頂けるような環境を整ったことで、日々の連絡の取り合いや情報共有が以前よりうまくいっている環境である	
29 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレントトレーニング等の支援を行っている			○		専門職をおくことで適切に保護者様への療育の助言をさせて頂いている。保護者様へのかかわりについては、勉強会の参加案内などもあり、保護者様の対応力をあげることに努めている。	現在は療育に関する助言にとどまっているが、今後はスタッフがペアレントトレーニングの研修を受けるなどし、新たな知識を取り入れることを検討している。
30 運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている		○			契約の際に重要事項として運営規定の内容と利用者負担等を盛り込んで説明している。不明な点があれば都度質問に答えられるようにしており、支援の内容についても同様である。	
保護者への説明責任等	31 保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	○			日々の送迎時や連絡帳システムなどにより相談をして頂く機会には、相談支援をさせていただき、前向きに子育てができるよう、助言をさせていただいたり、支援の具体案を提案したり保護者様が安心して過ごせるよう配慮している	
	32 父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している		○		保護者様同士の交流会ではないが、保護者様参加の勉強会などを通して、自然と保護者様同士の連携が生まれるような場の提供は行っている。	保護者様参加の勉強会だけでなく、保護者様交流会がメインになるような活動を検討する。その際はコロナ感染拡大に留意し時期や場所なども検討していく。
	33 子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	○			苦情解決の担当者を設け適切に対処できるよう体制を整えている。その場合は、迅速に対応し、周知できるように連絡調整を整えている。	
	34 定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	○			保護者様への毎日の連絡や報告をさせて頂いている。また、月に1度【ポイント】を配布し日々の様子を発信している。インスタグラムも個人情報に留意しながら投稿している。日々の活動がわかり安心しますとお言葉も頂くことがある。	
	35 個人情報に十分注意している	○				個人情報の取り扱いには十分注意しているが、SNSへの発信の際など、細かいところでの配慮が行き届いていない場面があったため、チェックリストを用意し、投稿や発信の際の注意点を徹底している。
	36 障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	○			児童によっては絵カードやPECSを用いるなど意思の疎通が行えるように環境設定を整えている。情報伝達がスムーズなよう工夫や方法や配慮に合わせた情報伝達の仕方を見つめ、スタッフ間でも共有している。	
	37 事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている		○			コロナ禍の為に現在は難しいが、時期が来れば地域交流の機会の提供という観点から積極的に開催したい。
	38 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	○			各種マニュアルを用意し事業所の玄関に掲示済。だれもが自由に見られるようにしている。	保護者様への周知強化のため、ホームページに載せる等の対応を検討する。
	39 非常災害の発生に備え、定期的避難訓練、救出その他必要な訓練を行っている	○			本年度は久留米消防署の協力のもと消防車を呼んで火災訓練を行った。	実施した旨を保護者様に報告し、各種訓練への取り組みをさらに周知する。
	40 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	○			本年度は職員が虐待防止のための外部研修へ参加している。また、虐待防止の委員会を設置している。	
非常時等の対応	41 どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	○			虐待防止委員会で、やむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、必要があると考えられる児童には個別支援計画書に記載する。	
	42 食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	○			アレルギーに関する調査票を保護者様から頂いており、記載されたアレルギーについて十分に注意し、食事やレクリエーションを行っている。	
	43 ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	○			ヒヤリハットを作成し職員がいつでも見られるように共有している。	